

社会保険労務士

さくら事務所便り

連絡先：〒223-0052

神奈川県横浜市港北区綱島東 5-4-5-108

電話：045-716-6080

e-mail: info@sakura-management.net

国際比較にみる 日本の
労働生産性水準

◆12月20日に出た調査結果

「労働生産性の国際比較 2017 年版」(公益財団法人日本生産性本部)が昨年 12 月 20 日に出されました。

政府が生産性向上に向けた各種の施策を展開している中で、日本の労働生産性が国際的にみてどのあたりに位置しているのかを、調査結果で明らかにしています。

◆そもそも「労働生産性」とは？

労働生産性とは、「労働者 1 人当たりで生み出す成果、あるいは労働者が 1 時間で生み出す成果を指標化したもの」です。

労働生産性は、「付加価値額または生産量÷労働投入量(労働者数または労働者数×労働時間)」で表され、労働者の能力向上や経営効率の改善などによって、労働生産性は向上します。

◆日本の時間当たり労働生産性は 20 位

2016 年の日本の時間当たり労働生産性は 46 ドル

(4,694 円/購買力平価換算)。順位は OECD (経済協力開発機構) 加盟 35 カ国中、昨年と同様の 20 位となりました。

上位は、1 位アイルランド (95.8 ドル)、2 位ルクセンブルク (95.4 ドル)、3 位ノルウェー (78.7 ドル) と続いています。OECD の平均は 51.9 ドルです。

日本の労働生産性は、6 位の米国 (69.6 ドル) の 3 分の 2 程度の水準で、主要先進 7 カ国 (フランス、米国、ドイツ、イタリア、カナダ、英国、日本) でみると、最下位の状況が続いています。

◆日本の 1 人当たり労働生産性は 21 位

2016 年の日本の就業者 1 人当たりでみた日本の労働生産性は、81,777 ドル (834 万円/購買力平価換算)。順位は、OECD 加盟 35 カ国中 21 位となりました。

上位は、1 位アイルランド (168,724 ドル)、2 位ルクセンブルク (144,273 ドル)、3 位米国 (122,986 ドル) となっています。OECD の平均は

92,753 ドルです。

日本の労働生産性は、就業 1 時間当たりと同様、就業者 1 人当たりでみても、主要先進 7 カ国で最も低い水準となっています。

◆日本の製造業の労働生産性は？

日本の製造業の労働生産性(就業者 1 人当たり)は 95,063 ドル (1,066 万円/為替レート換算)。日本の順位は 14 位で、米国 (139,686 ドル) の 7 割程度の水準となっています。

「学校における働き方改革」の動向と今後の課題

◆昨年 12 月に緊急対策を公表

文部科学省は、深刻化している学校教員の長時間労働問題について、昨年 12 月に「学校における働き方改革に関する緊急対策」公表しました。

以下はその柱となる 4 点です。

(1) 学校・教師の業務の役割分担・適正化を着実に実行するための方策

